

4. ルピナスネット出雲について

ルピナスネット出雲とは？

出雲市では医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムによる切れ目のない医療と介護の提供体制の構築を推進。

現在、医療介護の連携基盤では、診療録や看護・介護記録の共有基盤として推進しているところ。地域包括ケアでは、これらの記録の共有が想定されていない介護予防、生活支援関係者も参画しており、「ルピナスネット出雲」は、ICT(情報通信技術)を活用した電子@連絡帳サービスにより、このような関係者が医療・介護の関係者と相互に連携し、円滑な情報共有を行うことを目的としたネットワーク。

(参考:ルピナスネット出雲トップページ)



「ルピナスネット出雲」電子@連絡帳

ホーム

「ルピナスネット出雲」とは

電子@連絡帳について

同意手順

各種様式

サポート窓口

はじめに

出雲市では、市民の皆様により良い医療・介護サービスが提供されるよう、医療・介護の関係者間の連携を支援する医療・介護情報共有ネットワーク「ルピナスネット出雲」を立ち上げました。ルピナスネット出雲は、「いつも幸せ」を花言葉とするルピナスの花のように、医療・介護関係者が一体となって、多くの方に「いつも幸せ」と感じてもらえるようお願いを込めて名付けました。

市民の皆様におかれましては、医療や介護に関するお役立ち情報を掲載するルピナスネット出雲を、ぜひご利用ください。



電子@連絡帳

ログイン

利用には事前の利用者登録と証明書のインストールが必要です。施設登録申請から進めてください。既に施設登録済みの場合は、施設管理者に利用者アカウントをご確認頂き、証明書の取得とインストールをしてください。

参加登録される施設の方へ

施設登録の申請

利用中止申請

ご利用前に

- 証明書のダウンロード
- 証明書のインストール手順
- 推奨環境

利用規約

1.ガイドライン・マニュアル

・出雲市入退院連携ガイドライン

・出雲市版クアママニュアル

※介護予防、日常生活支援総合事業に関する内容は、以下の「介護予防、日常生活支援総合事業 関係資料」をご参照ください。

・介護予防、日常生活支援総合事業 関係資料

2.情報提供書式

・アセスメントシート（居宅介護支援事業所のクアマネジャー）

・入居時情報提供書（高齢者あんしん支援センターのクアマネジャー）

・高齢者入所施設情報提供書（居宅介護支援事業所のクアマネジャー）

・訪問看護情報提供書（訪問看護ステーションの看護師）

・患者情報カード（病院の入退院支援職員）

医療介護に関するお役立ちツールや出雲市からの最新情報へのリンク等も掲載。

- ・休日・夜間診療案内
- ・出雲市介護福祉力育成プロジェクトHP「IZUMO KAIGO LIVE」
- ・医療介護連携課 情報一覧（医療介護連携/介護予防情報等）
- ・高齢者福祉課 情報一覧（介護保険情報等）

職能団体等ホームページ

- ・鳥取県医師会
- ・鳥取県薬剤師会
- ・出雲地域介護支援専門員協会
- ・出雲市社会福祉協議会/高齢者あんしん支援センター

その他 情報公開サイト

- ・医療情報ネット（ナビイ）（厚生労働省）
- ・介護サービス情報公表システム（厚生労働省/鳥取県）

電子@連絡帳の機能紹介

市民や医療介護従事者等が、必要な医療介護等の資源や地域のサービスを迅速かつ容易にマップ上から検索が可能。

機能①

地域資源の登録と公開
※2/29公開

行政が持つ、地域資源を登録し、ポータルサイト（**地域資源マップ**）にて公開することで住民に向けた地域資源の情報提供が可能。

※本年早期に専用ポータルサイトを開設し、平成30年より更新されていなかった**医療介護資源マップの更新版**を2/29に掲載。
今後、通いの場、ボランティア、生活支援事業者も順次掲載予定。）

機能②

介護予防、生活、福祉に関する専門職のコミュニケーションツール
※4/1稼働

登録された各資源に所属する専門職間で、支援を必要とする人に関する**チャットによる情報交換**や、**掲示板を活用した介護予防・生活支援や、フレイル予防に有用な研修等の情報発信**が可能。
※機能は**無償**で提供



住民は地域資源をスマホかPCで検索が可能。

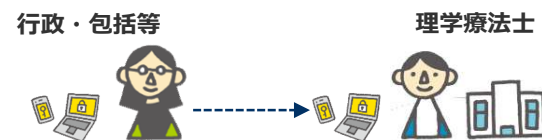


専門職は地域資源情報を住民へ提供が可能。



活用例「動画」を用いた連携

行政・地域包括支援センター等⇔理学療法士 歩行状態の情報共有（動画連携）



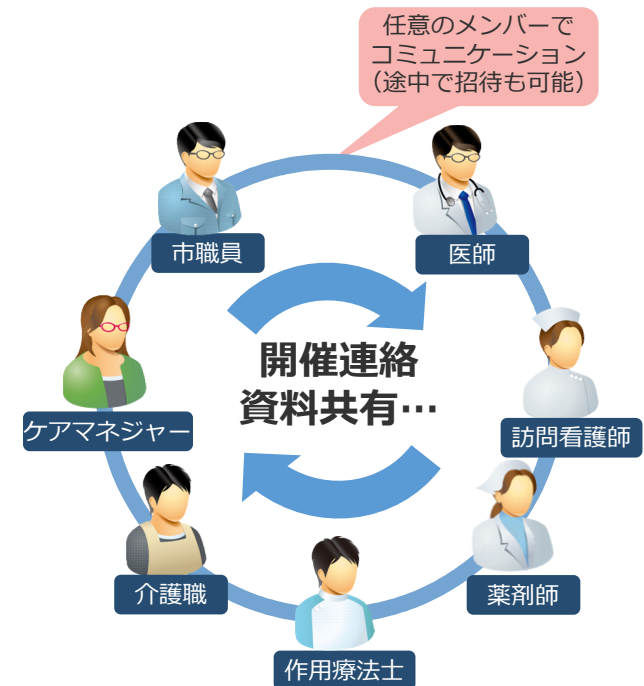
動画で伝える。

※300MBまで添付可能

活用例 プロジェクト機能を使った「事務連絡」「研修・説明会案内」

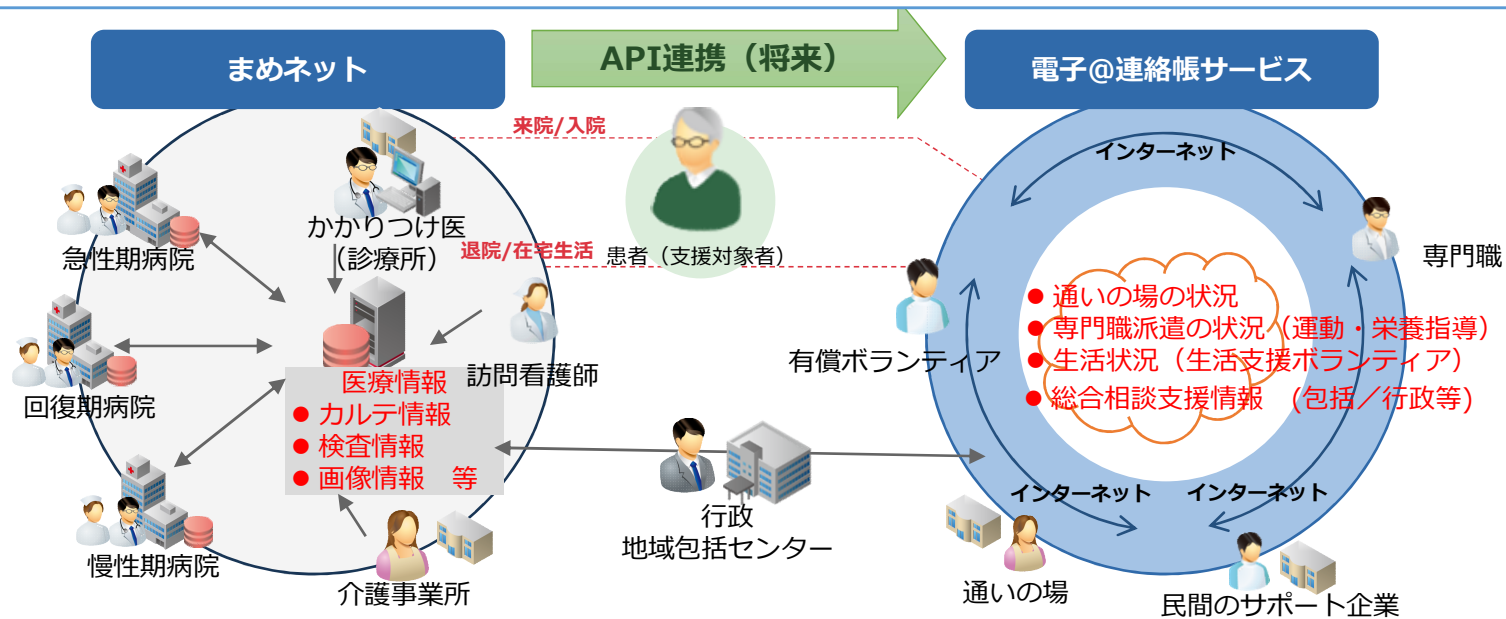
ログイン後の「プロジェクト」機能より、支援対象者に紐付かないグループを作成し、「事務連絡」、「研修・説明会案内」等のコミュニケーションを行うことが可能。

※行政からの連絡にも積極的に活用予定



「まめネット」と「電子@連絡帳」の連携・活用の可能性

これまでどおり診療介護の連携基盤としてまめネットの活用を推進し、診療録の共有が想定されていない介護予防、生活支援、福祉相談関係者に対して、新たな連携基盤を構築し、将来、基盤間のAPI連携を視野に広角的かつ多様な支援につなげたい。



| |
|-------------------------|
| 医療介護連携 |
| 医療・介護 |
| 病院・介護事業所・ 居宅 (訪問診療等) |
| 診療録、訪問看護、介護の記録 等の情報 |

| |
|--------------|
| 連携範囲 |
| 目的 |
| 場所 |
| 情報の種類 |

| |
|-------------------------------|
| 介護予防・生活支援連携 |
| 介護予防・生活支援・福祉相談 |
| 介護予防、生活支援における通所 型及び訪問型サービス |
| 介護予防・生活支援や福祉相談 等の情報 |